BAR Pro2
取扱説明書・入門編

http://www.corega.co.jp/

目　次

はじめに 4
1　製品概要 5
2　PC の設定 6
3　機器の接続 9
4　本製品の設定 10
5　クライアント PC の起動 12
6　接続の確認 12
付録 13

ご注意

本製品の取扱説明書は「入門編」（本書）と「詳細編」（CD-ROM 内収録）の 2 部構成になっております。
また、CD-ROM 内には接続先ごとに設定例がありますので、参照してください。
CD-ROM 内詳細については本書の付録 B をご覧ください。

PN J613-M7359-00 Rev.A

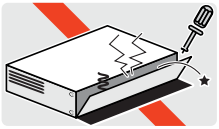
安全のために

必ずお守りください

警告 下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により、**死亡や大けが**の原因となります。

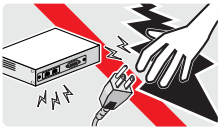
分解や改造をしない

本製品は､取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。
火災や感電、けがの原因となります。



雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

感電の原因となります。

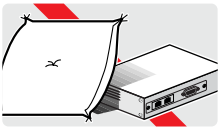


異物は入れない　水は禁物

火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

通風口はふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。



湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となります。

交流１００Ｖの電源でお使いください。

異なる電源電圧で使用すると火災や感電の原因となります。

電源ケーブルを傷つけない

火災や感電の原因となります。
電源ケーブルやプラグの取扱上の注意：
・加工しない、傷つけない。
・重いものを載せない。
・暖房器具に近づけない、加熱しない。
・電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない

たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。

設置・移動のときは電源プラグを抜く

感電の原因となります。

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください。

・直射日光の当たる場所
・暖房器具の近くなどの高温になる場所
・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所（湿度80%以下の環境でご使用ください）
・振動の激しい場所
・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
・腐食性ガスの発生する場所

静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。
部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクターの接点部分、ポート、
部品などに素手で触れないで下さい。

取り扱いはていねいに

落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。

お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で

誤動作の原因になります。

機器は、乾いた柔らかい布で拭く

汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、堅く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

お手入れには次のものは使わないでください

・石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん
（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください。）

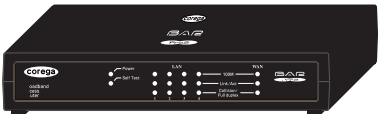
はじめに

この度は、「corega BAR Pro2」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。この取扱説明書は本製品を正しくご使用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただくために、大切に保管していただきますようお願いいたします。

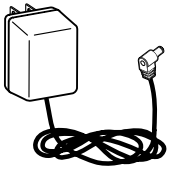
内容物をご確認ください

本製品パッケージの内容は、下記の通りです（下記以外に添付紙が同梱されている場合があります）。お買い上げ商品についてご確認いただき、万一不足するものがございましたらお手数ですが、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

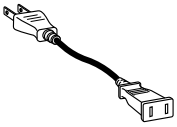
・corega BAR Pro2 本体



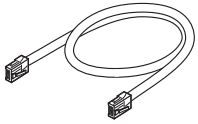
・専用 AC アダプター



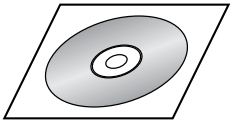
・延長用電源ケーブル



・LAN ケーブル（1 本）カテゴリー 5・ストレート



・ユーティリティー CD（1 枚）



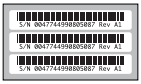
収録内容 取扱説明書・詳細編（PDF 形式ファイル）

・取扱説明書・入門編

（本書）

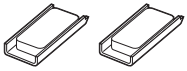
・製品保証書

・シリアル番号シール



・ゴム足（粘着タイプ 4 個：本体取付済み）

・マグネット（2 個）



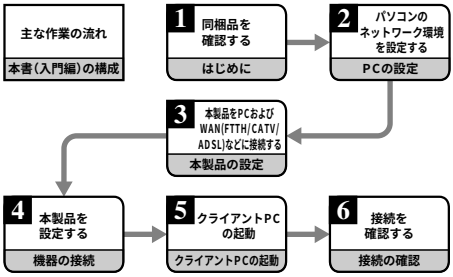
・ウォールマウント用タッピングスクリュー（2 個）

・ウォールマウント用プラスチックアンカー（2 個）

取扱説明書について

本製品の取扱説明書は、入門編（本書）と詳細編（付属のユーティリティー CD 内に PDF 形式ファイルとして収録）の 2 編に分かれています。

入門編では、本製品の設置方法とクイック設定画面による設定方法について説明しています。本設定で動作しない場合、または他の機能をご使用になる場合には、詳細編（ユーティリティー CD 内に収録）をご覧ください。



・本製品で使用可能な機能については「付録 A. ブラウザによる設定可能項目一覧」を参照してください。
・ユーティリティー CD については、「付録 B. ユーティリティー CD について」を参照してください。

1 製品概要

本製品は、ADSL や CATV などで提供される高速インターネットアクセス環境に対応した 100BASE-TX/10BASE-T の WAN ポートを持つブロードバンドアクセスルーターです。100BASE-TX/10BASE-T の自動認識ポートを 4 ポート装備したファーストイーサネット・スイッチとしてもご利用いただけます。

- WAN ポート・LANポート共に、100BASE-TX/10BASE-T 自動認識ポート
- ケーブル /ADSL モデムに接続し、複数のクライアントより同時に、インターネット接続が可能
- 4 ポートのスイッチング・ハブを内蔵
- インターネットからの不正アクセスを防止する NAT ／IP マスカレード機能搭載
- VPN パススルーに対応
- ブラウザーによる簡単設定／ファームウェア更新
- DHCP サーバー・クライアント機能搭載
- PPPoE/Unnumbered IP に対応
- UPnP（Universal Plug & Play）対応

1.1 各部の名称と機能

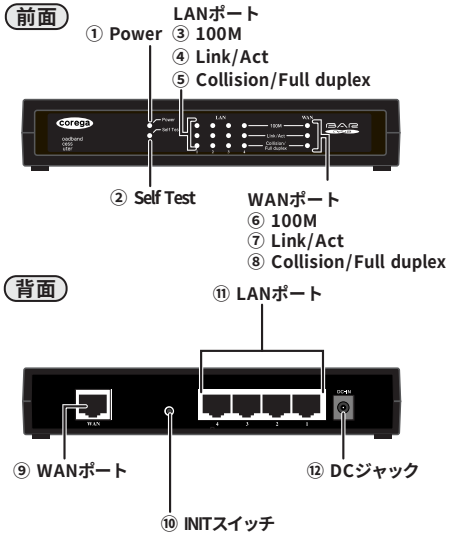


図 1.1-1

① Power（緑）

本体に電源が供給されているときに点灯します。

② Self Test（橙）

システム初期化時のセルフテスト中に点灯します。

③ LAN ポート 100M（緑）

ポートが 100Mbps で動作しているときに点灯します。消灯している場合は、10Mbps で動作していることを示します。

100Mbps/10Mbps の切り換えは、オートネゴシエーション機能によって、本製品が自動的に行います。ユーザーが設定する必要はありません。

④ LAN ポート Link/Act（緑）

本製品のポートと接続装置とのリンクが確立し、相互に通信が可能な状態にあるときに点灯します。また、パケットの送受信が正常に行われているときに点滅します。

⑤ LAN ポート Collision/Full duplex（緑）

ポートが Full duplex で動作しているときに点灯します。コリジョンが発生している場合に点滅します。

⑥ WAN ポート 100M（緑）

WAN ポートが 100Mbps で動作しているときに点灯します。消灯している場合は、10Mbps で動作していることを示します。100Mbps/10Mbps の切り換えは、オートネゴシエーション機能によって、本製品が自動的に行います。ユーザーが設定する必要はありません。

⑦ WAN ポート Link/ Act（緑）

本製品の WAN ポートと接続装置（ADSL/ ケーブルモデムなど）とのリンクが確立し、相互に通信可能な状態にあるときに点灯します。また、パケットとの送受信が正常に行われているときに点滅します。

⑧ WAN ポート Collision/Full duplex（緑）

WAN ポートが Full duplex で動作しているときに点灯します。コリジョンが発生している場合に点滅します。

⑨ WAN ポート（100BASE-TX/10BASE-T）

本製品と ADSL/ ケーブルモデムまたは既存のネットワークとを接続するためのポート（RJ-45）です。

⑩ INIT スイッチ

本製品が何らかの原因で動作不可になった場合に、リセットすることができます。

スイッチを押すと、再起動します。

5 秒以上スイッチを押していると、工場出荷時の状態に戻ります。

注意：工場出荷時の状態に戻すと、それ以前に設定した値はすべて初期化されますので、ご注意ください。

⑪ LAN ポート（ポート番号 1 ～ 4）

100BASE-TX、または 10BASE-T の LAN ケーブルを接続するためのコネクターです。

⑫ DC ジャック

AC アダプターの DC プラグを接続するためのコネクターです。

1.2 使用環境

本製品は、次の OS に対応しています。

Windows95/98/Me/2000/XP/NT, MacOS, UNIX, Linux（TCP/IP をサポートする OS）

2 PC の設定

本製品を利用したインターネット接続ができるように、お使いの PC（パソコン）のネットワーク（TCP/IP）設定を行います。ネットワーク設定は接続するすべてのパソ コンで行う必要があります。また、あらかじめネットワークカードの設定がされている必要があります。

2.1 Windows 編

Windows 98（95/Me）の設定

(1)「コントロールパネル」の「ネットワーク」画面を開き、「現在のネットワークコンポーネント」リストの中から、“ TCP/IP ー>（ネットワークカード名）” を選択し、「プロパティ」をクリックします。

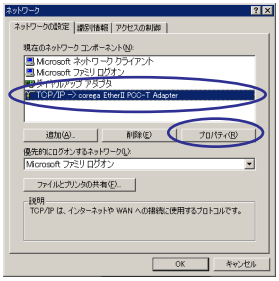


図 2.1-1

(2)「TCP/IP のプロパティ」画面で「IP アドレス」タブの「IP アドレスを自動的に取得」を選択し、「OK」をクリックします。

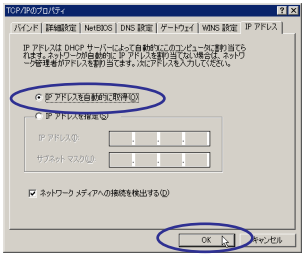


図 2.1-2

プロバイダーからドメイン名も指定されている場合

「TCP/IP のプロパティ」画面の「DNS 設定」タブをクリックし、「DNS を使う」を選択し、「ドメインサフィックスの検索順」欄に指定されたドメイン名を入力して「追加」ボタンを押してください。

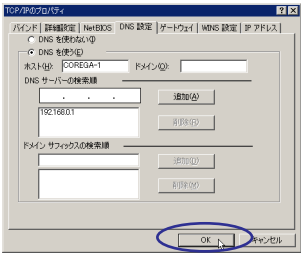


図 2.1-3　DNS 設定例

(3)「ネットワーク」画面で「OK」をクリックしてウィンドウを閉じ、パソコンを再起動してください。

Windows XP の設定

(1)「コントロールパネル（クラシック表示）」の「ネットワーク接続」画面を開き、「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックしてください。

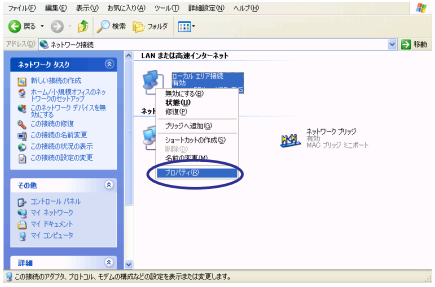


図 2.1-4

(2) 次に「インターネットプロトコル（TCP/IP）」をクリックして、「プロパティ」をクリックしてください。

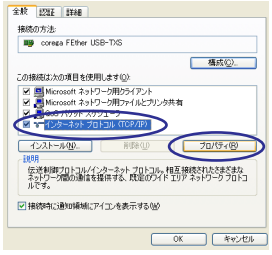


図 2.1-5

(3) ここで「IP アドレスを自動的に取得する」を選択し、「OK」をクリックします。

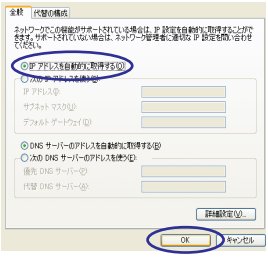


図 2.1-6

プロバイダーからドメイン名も指定されている場合

「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」画面の「次の DNS サーバーのアドレスを使う」を選択し、「優先 DNS サーバー」欄に指定されたドメイン名を入力し、「OK」をクリックしてください。プロバイダーより2つのDNS サーバーを通知されている場合は、「優先DNS サーバー」および「代替 DNS サーバー」欄に入力してください。

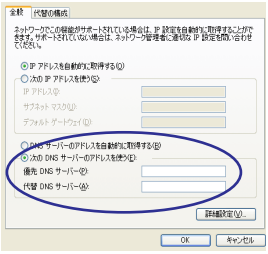


図 2.1-7

Windows 2000 の設定

(1) 「コントロールパネル」の「ネットワークとダイヤルアップ接続」を開き、「ローカルエリア接続」をクリックします。

図 2.1-8

(2) 「ローカル エリア接続状態」画面で「プロパティ」をクリックします。

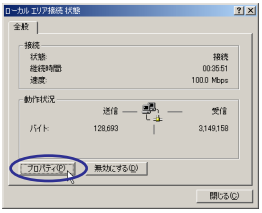


図 2.1-9

(3) 「ローカルエ リア接続のプロパティ」画面のリストの中から“ インターネットプロトコル（TCP/IP）”を選択し、「プロパティ」をクリックします。

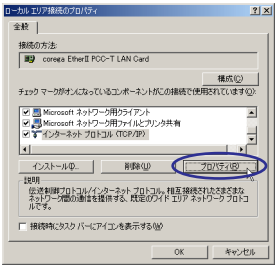


図 2.1-10

(4) 「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」画面で「IP アドレスを自動的に取得する」と「DNS サーバのアドレスを自動的に取得する」を選択し、「詳細設定」をクリックします。

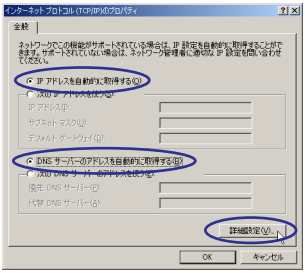


図 2.1-11

(5) 「TCP/IP 詳細設定」画面で「DNS」タブを選択し、下部の「この接続アドレスを DNS に登録する」のチェックを外してください。

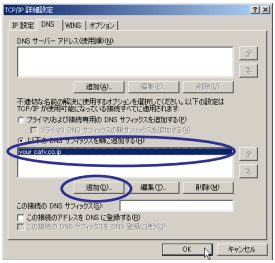


図 2.1-12

プロバイダーからドメイン名も指定されている場合

「以下の DNS サフィックスを順に追加する」を選択し、「追加」ボタンを押して指定されたドメイン名を入力してください。

(6)「OK」をクリックしてウィンドウを閉じ、パソコンを再起動してください。

Windows NT 4.0 の設定

(1)「コントロールパネル」の「ネットワーク」を開き、ネットワークプロトコルリストの中から “ TCP/IP プロトコル ”を選択し、「プロパティ」をクリックします。

図 2.1-13

(2)「Microsoft TCP/IP のプロパティ」画面の「IP アドレス」タブで、「アダプタ」欄にお使いのネットワークカードが表示されているのを確認し、「DHCP サーバーから IP アドレスを取得する」を選択して、「OK」をクリックします。

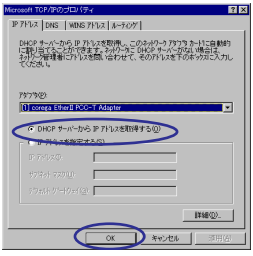


図 2.1-14

プロバイダーからドメイン名も指定されている場合

「DNS 設定」タブをクリックし、「DNS を使う」を選択し、「ドメインサフィックスの検索順序」欄に指定された ドメイン名を入力して「追加」ボタンを押してください。

(3)「OK」をクリックしてウィンドウを閉じ、パソコンを再起動してください。

2.2 Macintosh 編

Mac OS 9.x（8.x）の設定

(1) アップルメニューから「コントロールパネル」の「TCP/IP」を開き、「経由先」から “ 内蔵 Ethernet ” または“ Ethernet ”、「設定方法」から“ DHCP サーバを参照 ”を選択してください。

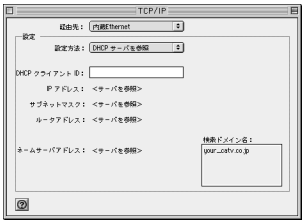


図 2.2-1

プロバイダーからドメイン名も指定されている場合

「検索ドメイン名」に指定されたドメイン名を入力し追加してください。

(2)「TCP/IP」ウィンドウを閉じて設定を保存してください。

Mac OS X の設定

(1) アップルメニューから「システム環境設定」を起動して「ネットワーク」を開き、「表示」プルダウンメニューから " 内蔵 Ethernet" を選んでから「TCP/IP」タグを選択してください。「設定」プルダウンメニューから
"DHCP サーバを参照 ” を選択してください。

図 2.2-2

プロバイダーからドメイン名も指定されている場合

「検索ドメイン」に指定されたドメイン名を入力し追加してください。

(2)「保存」または「今すぐ適用」をクリックして設定を保存してください。

3 機器の接続

3.1 設置する前に

インターネット回線契約

本製品を設置するために必要なインターネット接続アカウント情報は、ご契約されているプロバイダーやサービスによって異なります。以下のような、接続するインターネット回線環境（FTTH/ADSL/CATV インターネット接続、PPPoE 接続など）の情報をあらかじめ用意しておいてください。

□PPPoE（フレッツ ADSL、B フレッツなど）接続の場合

PC にプロバイダーから配付された「フレッツ接続ツール」などがインストールされている場合は、あらかじめアンインストールしてください。

・ユーザー名

プロバイダーから指定されたユーザー名を確認してください。

・パスワード

プロバイダーから指定されたパスワードを確認してください。

□WAN 側 IP を自動取得（CATV、Yahoo! BB など）または固定設定（固定 IP サービス）して接続する場合

・IP アドレス

インターネットサービスには、IP アドレスを自動的に配布する場合（DHCP）と、IP アドレスを固定的に割り当てる場合があります。ご利用のインターネットサービスが、どちらの方式を採用しているか確認してください。IP アドレスを固定割り当てするインターネットサービスの場合は、そのIP アドレスを確認してください。

・サブネットマスク

IP アドレスを固定割り当てするインターネットサービスの場合は、サブネットマスクを確認してください。

・デフォルトゲートウェイ（デフォルトルータ）

IP アドレスを固定割り当てするインターネットサービスの場合は、デフォルトゲートウェイ（デフォルトルータ）を確認してください。

・DNS サーバーアドレス

IP アドレスを固定割り当てするインターネットサービスの場合は、DNS サーバの IP アドレスを確認してください。DNS サーバが複数指定されている場合も、それぞれの IP アドレスを確認してください。

・ドメイン名

ご利用のインターネットサービスによっては、ドメイン名の設定も必要になる場合があります。

プロバイダーへの申請

ご契約されているプロバイダーやインターネットサービスによっては、インターネットに接続できる機器を事前に申請する必要があります。その場合、CATV/ADSL モデムに直接接続するネットワーク機器（本製品も含むパソコンなど）の MAC アドレスをプロバイダーに対して事前申請してください。

注意

・MAC アドレスの事前申請が必要かどうかは、ご利用のインターネットサービスによって異なります。インターネットサービスプロバイダーに確認してください。

・MAC アドレスの事前申請が必要なインターネットサービスの場合、プロバイダーへの申請および登録が完了するまで本製品を利用したインターネットアクセスはできません。また、すでにお使いの機器（コンピューター等）の MAC アドレスをプロバイダーに申請している場合、本機の MAC アドレスの再申請が必要になります。

MAC アドレスについて

本製品の MAC アドレスは本体底面に 12 ケタの数字が記入されています（表記はすべて 16 進数）。

本製品に貼付されているのは WAN 側の MAC アドレスです。LAN 側の MAC アドレスについてはブラウザ設定画面のシステム情報で確認できます。

設置場所

本書冒頭の「安全のために」をよくお読みになり、正しい場所に設置してください。

電源

必ず付属の AC アダプターを使用し、AC100V のコンセントに接続してください。それ以外の AC アダプターやコンセントを使用すると、発熱による発火や感電のおそれがあります。

なお、AC プラグ部が AC100V コンセントに接続するほかの機器のじゃまになる場合は、付属の延長用電源ケーブルを接続してお使いください。

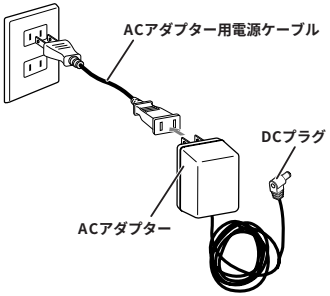


図 3.1-1

起動と停止

AC アダプターの DC プラグを本体背面の DC ジャックに接続し、AC プラグを電源コンセントに差し込むと起動します。AC アダプターの AC プラグを電源コンセントから抜くと停止します。

注意

・本製品には電源スイッチがありません。AC プラグを電源コンセントに接続した時点で、電源が入りますのでご注意ください。
・AC アダプターの AC プラグを電源コンセントに差し込んだまま DC プラグを抜かないでください。感電事故を引き起こすおそれがあります。

3.2 推奨ケーブル

ケーブルは 100BASE-TX の場合はカテゴリー 5 の LAN ケーブル、10BASE-T の場合はカテゴリー 3 以上の LAN ケーブルを使用してください。

3.3 接続のしかた

本製品、ADSL/ ケーブルモデム、スイッチングハブ、パソコンなどネットワーク接続する機器を LAN ケーブルで接続してください。

注意

本製品、ADSL/ ケーブルモデム、スイッチングハブ、パソコンなどネットワーク接続する機器の電源をすべて OFF にするか、電源コンセントから抜いてください。

PC への接続のしかた

(1) 本製品背面の LAN ポートに LAN ケーブルを接続します。

(2) ネットワークに接続する PC にネットワークカードが正しく取り付けられていることを確認して、LAN ケーブルのもう一方を PC のネットワークカードに接続します。

WAN への接続のしかた

(1) 本製品背面の WAN ポートに LAN ケーブルを接続します。

(2) ADSL/CATV モデムの LAN ポート（RJ45）に LAN ケーブルのもう一方を接続します。

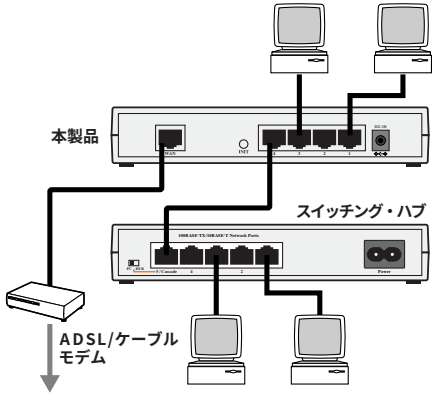


図 3.3-1

4 本製品の設定

WWW ブラウザによるクイック設定画面から、本製品を設定する方法を説明します。

本製品を設定するために必要なインターネット接続アカウント情報は、ご契約されているプロバイダーやサービスによって異なります。設定の前に、接続するインターネット回線環境（FTTH/ADSL/CATV インターネット接続、PPPoE 接続など）の情報を用意しておいてください。

Unnumbered を利用している場合の設定は詳細編（付録ユーティリティー CD に収録）

(1) 本製品の専用 AC アダプターの DC プラグを本体背面の DC ジャックに接続し、AC プラグを電源コンセントに差し込みます。

(2) PC を起動します。

「2 PC の設定」（6 ページ）での設定が正常に行われている場合、本製品からお使いの PC に IP アドレスがアサインされます。

・設定の前にプロキシーを解除してください。
・ウイルス関連ソフトまたはセキュリティソフトをご利用の場合は一時的に停止し、設定終了後再度稼動してください。

(3) WWW ブラウザを起動し、アドレス入力欄に“ 192.168.1.1 ”を入力して「移動」をクリックします。

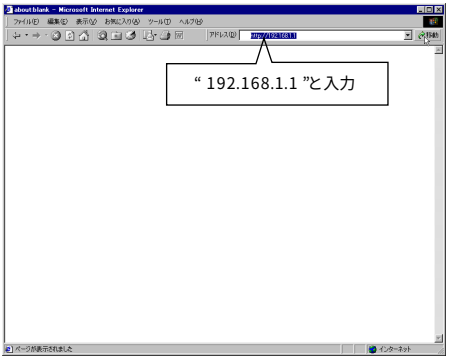


図 4-1

(4) 「ネットワークパスワードの入力」画面が表示されたら、ユーザー名の欄に「root」と入力を入力し、「OK」をクリックします。

工場出荷時のパスワードは空欄です。

注意

ここで使用するユーザー名“ root ”は、プロバイダーから提供されるものとは異なります。

(5) ブラウザ設定画面が表示されたら、左側のフォルダ「クイック設定」をクリックします。

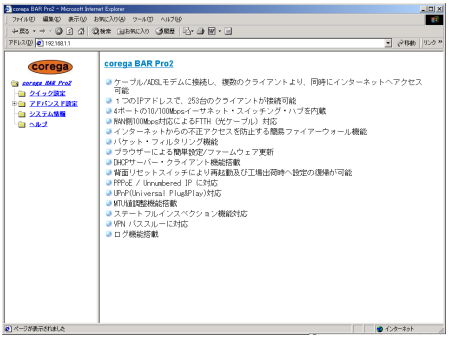


図 4-2

> **注意** **ブラウザの JavaScript 機能が無効になっていると左側のメニューが正常に表示されません。このような場合は、お使いのブラウザの設定を確認してください（通常、初期設定では有効になっています。詳しくは、取扱説明書・詳細編の「JavaScript を有効にする」をご覧ください。**

(6) 右側に表示された「PPPoE」(P.11)、「WAN 側 IP（自動取得）」(P.11)、「WAN 側 IP（固定）」(P.12）からプロバイダーとのご契約内容を確認し、該当するものを選択してください。

PPPoE の設定項目

図 4-3

・ユーザー名

プロバイダーより指定されたユーザー名を入力します。

（例：○○○ @ △△△.ne.jp）

ユーザーID　プロバイダーのドメイン名

・パスワード

プロバイダーより指定されたパスワード名を入力します。

（入力時＊＊＊で表示されます）

・パスワードの確認

パスワードと同じものを入力します。

（入力時＊＊＊で表示されます）

・DNS サーバー

「自動設定」

プロバイダーから指定がない場合は自動設定を選択し、DNS サーバー 1、2 は空欄とします。

「マニュアル設定」

プライマリー DNS サーバー、セカンダリー DNS サーバーの指定がある場合選択します。プライマリー DNS サーバーの値を DNS サーバー 1、セカンダリーDNS サーバーの値を DNS サーバー 2 に入力してください。

以上で PPPoE の設定は終了です。「6　接続の確認」(P.12）を参照して、インターネットへの接続を確認してください。

WAN 側 IP（自動取得）の設定項目

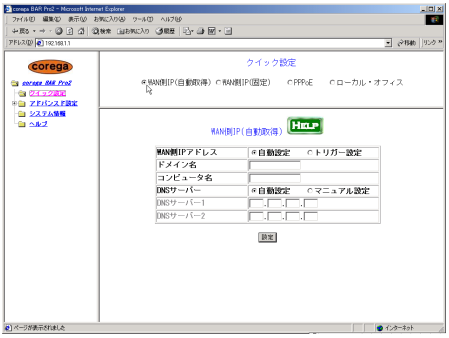


図 4-4

・WAN 側 IP アドレス

自動設定かトリガー設定を選択します。

自動設定は、IP アドレスを起動時に取得し、本製品トリガー設定では通信時に取得します。

※工場出荷時は自動設定となっています。
　通常は変更する必要はありません。

・ドメイン名

プロバイダーより指定されたドメイン名を入力します。

※プロバイダーから指定されていない場合は、入力不要です。

・コンピュータ名

プロバイダーより指定がある場合は、指定されたコンピュータ名を入力します。

※プロバイダーから指定されていない場合は、入力不要です。

・DNS サーバー

「自動設定」

通常は自動設定を選択し、DNS サーバー 1、2 は空欄とします。

「マニュアル設定」

プライマリー DNS サーバー、セカンダリー DNS サーバーの指定がある場合は、プライマリー DNS サーバーの値を DNS サーバー 1、セカンダリーDNS サーバーの値を DNS サーバー 2 に入力してください。

以上で WAN 側 IP（自動取得）の設定は終了です。「6 接続の確認」（P.12）を参照して、インターネットへの接続を確認してください。

WAN 側 IP（固定）の設定項目

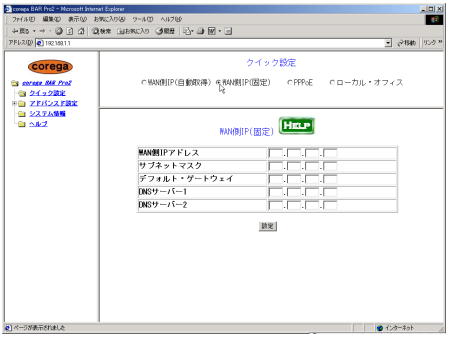


図 4-5

・WAN 側 IP アドレス

プロバイダーより指定された IP アドレスを入力します。

・サブネットマスク

プロバイダーより指定されたサブネットマスクを入力します。

・デフォルト・ゲートウェイ・アドレス

プロバイダーより指定されたゲートウェイの IP アドレスを入力します。

・DNS サーバー 1、DNS サーバー 2

プライマリー DNS サーバー、セカンダリー DNS サーバーの指定がある場合は、プライマリー DNS サーバーの値を DNS サーバー 1、セカンダリー DNS サーバーの値を DNS サーバー 2 に入力してください。

(7) 情報の入力が終ったら、「設定」ボタンをクリックしてください。

その他の設定項目や画面の詳細については、「付録 A. ブラウザによる設定可能項目一覧」（P.13）を参照してください。

(8) 本製品の電源を一度切り、電源を入れ直してください。次に PC の再起動も行ってください。

5 クライアント PC の起動

本製品に接続しているクライアント PC を起動します。

6 接続の確認

ケーブルの接続及び PC の起動の終了後、インターネットに接続して設定を確認してください。

(1) PC の画面で WWW ブラウザを起動し、目的の URL を指定します。

例 http://www.corega.co.jp/ を指定した場合

(2) 目的のホームページが表示されたら完了です。

図 6-1

付録

A　ブラウザによる設定可能項目一覧

本製品のファームウェア設定項目は、「クイック設定」と「アドバンスド設定」（「システム情報」「ヘルプ」）に分かれています。

設定項目の概要は以下のとおりです。

表 1

メニュー			機能概要
クイック設定	WAN側IP（自動取得）		IP 設定が自動取得（DHCP）の場合に選択　　（出荷時設定）
	WAN側IP（固定）		IP 設定を固定にする場合に選択
	PPPoE		PPPoE で接続する場合に選択
	ローカル・オフィス		オフィスで簡易ルーターとして使用する場合に選択
アドバンスド設定	システム設定	ファームウェア更新	管理者のログイン名、パスワード設定 / ファームウェアの更新 IP マスカレード保持時間、ステルスモードの設定、 工場出荷時設定、システムリブート
	LAN側の設定		LAN 側の IP アドレス、サブネットマスクの設定
	WAN側の設定	IP自動取得（DHCP）	IP 設定が自動取得（DHCP）の場合に選択（出荷時設定）、MTU 値の変更
		IP固定	IP 設定を固定にする場合に選択、MTU 値の変更
		PPPoE	PPPoE、Unnumbered IP、Unnumbered + Private IP で接続する場合に選択 MTU 値の変更
		ローカル・オフィス	オフィスで簡易ルーターとして使用する場合に選択
	DMZ 設定		指定した PC を WAN側から参照可能とする
	バーチャル・サーバー		LAN 側に接続している PC をインターネット上に公開可能とする
	セキュリティ設定	ステートフルインスペクション	ステートフルインスペクションの有効 / 無効の設定
		VPN　パススルー	VPN パススルーの有効 / 無効の設定
		パケット・フィルタリング	IP アドレスまたはポート指定によりパケットをフィルタリングする
	DHCP 設定	固定IP テーブル	DHCP サーバーでクライアントの IP アドレスを固定する
		除外するIP テーブル	DHCP サーバーにて除外する IP アドレスを設定
		BOOTP IP テーブル	BOOTP を使用する場合の設定
	ルーティング設定	スタティック・ルーティング設定	スタティック・ルーティングの設定
		RIP設定	ダイナミック・ルーティング (RIPv1/RIPv2) の設定
		ダイナミック・ルーティング・テーブル	ダイナミック・ルーティング・テーブルの表示
	ダイナミック DNS		URL を使用して LAN 内のバーチャル・サーバー等に接続する
	ログ表示	アクセス　ログ	アクセス情報を表示
		DoS アタック　ログ	DoS アタック情報を表示
	UPnP 設定	UPnP ポート設定情報	UPnP サーバーを使用する場合に設定
システム情報			本製品のシステム情報を表示
ヘルプ			各設定項目ごとの説明を表示

B　ユーティリティー CD について

本製品付属のユーティリティーCDには次の情報が収録されています。

・取扱説明書・詳細編

・接続先別設定例

次の手順で参照してください。

「取扱説明書・詳細編（PDF ファイル）」を参照する

(1) ユーティリティー CD を PC の CD-ROM ドライブにセットしてください。

(2) デスクトップの「マイコンピュータ」をダブルクリックします。（Windows XP の場合は「スタート」ボタンから「マイコンピュータ」をクリックします。）

(3) CD-ROM　アイコン（ または ）をダブルクリックし、「詳細編」をダブルクリックします。

(4) 「取扱説明書・詳細編」が表示されます。

本取扱説明書を表示するためにはあらかじめ「Acrobat Reader」がインストールされている必要があります。

「接続先別設定例」を参照する

(1) ユーティリティー CD を PC の CD-ROM ドライブにセットしてください。

(2) デスクトップの「マイコンピュータ」をダブルクリックします。（Windows XP の場合は「スタート」ボタンから「マイコンピュータ」をクリックします。）

(3) CD-ROM　アイコン（ または ）をダブルクリックし、「index」をダブルクリックします。

(4) 接続別設定例の目次が表示されますので、参照したい接続先をダブルクリックしてください。

C　製品仕様

表 2

ネットワークインターフェース	WAN側	100BASE-TX/10BASE-T	1 ポート (MDI/MDI-X 自動認識)
		サポート規格	IEEE802.3(10BASE-T)、
			IEEE802.3u(100BASE-TX Fast Ethernet)
	LAN側	100BASE-TX/10BASE-T	4 ポート (MDI/MDI-X 自動認識)
		サポート規格	IEEE802.3(10BASE-T)、
			IEEE802.3u(100BASE-TX Fast Ethernet)
			IEEE802.3x(Flow control)
		アクセス方式	CSMA/CD
		データ伝送方式	10Mbps/100Mbps
		バッファ容量	64Kbyte
ハードウェア構成	本体仕様	適用規格	EMI 規格　VCCI Class B
		定格入力電圧	AC100V
		平均消費電流	500mA
		平均消費電力	6W
	本体仕様環境条件	保管時温度差	-20 ～ 60 ℃
		保管時湿度	95% 以下（ただし結露なきこと）
		動作時温度	0 ～ 40 ℃
		動作時湿度	80% 以下（ただし結露なきこと）
	本体外形寸法（突起物含まず）		175(W) X 32(H) X 115(D) mm
	本体重量（AC アダプター含まず）		320g
基本機能	ルーティング方式		スタティック／ダイナミックルーティング(RIPv1/RIPv2)
	ルーティング対象プロトコル		IP
	設定方式		Web ブラウザー
	初期化方式		Init スイッチ /Webブラウザー
	ファームウェア更新方法		Web ブラウザー
	対応プロトコル		TCP/IP,UDP,DHCP,PPPoE,PPTP,NAT
	対応 OS		Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP,Mac,Linux,Unix(TCP/IP をサポートするOS)
各種機能	アドレス変換		NAT/IP マスカレード
	DHCP サーバー / クライアント		サーバー（LAN 側最大 253クライアント)、クライアント (WAN 側)
	UPnP（Ver.1 準拠）		○（Ver.1 追加機能に対応不可）
	NetMeeting（同時使用可能数）		○（１台）
	MSN Messenger（同時使用可能数）		○（１台）
	Windows Messenger（同時使用推奨数）		○（１台）（UPnP 有効時のみ同時使用可能）
	VPN		○ PPTP/IPSec/L2TP(共にパススルー)
	PPPoE（同時に使用可能なアカウント数）		○（１台）
	セキュリティー		○ IP/Port
	DMZ		○（１台）
	バーチャルサーバー		○
	ログ記録		○
	ファイアーウォール		○（DoS アタック）

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

工場出荷時の設定内容

本製品の 工場出荷時の設定 内容は以下のとおり です。

表 3：工場出荷時設定

設定内容			初期設定	
クイック設定	WAN側　IP（自動取得）		IP アドレス	起動時取得
			DNS サーバー	自動設定
アドバンスド設定	システム設定		管理者ログイン名	root
			管理者ログイン・パスワード	なし
			IP マスカレード・テーブル保持時間	10 分
			URL ホーム	corega.home
			ステルスモード	無効
	LAN側の設定		LAN側 IP アドレス	192.168.1.1
			サブネットマスク	255.255.255.0
	WAN側の設定	IP 自動取得	IP アドレス	自動設定
			DNS サーバー	自動設定
			MTU 値	1500 バイト（固定）
		IP 固定	MTU 値	1500 バイト（固定）
		PPPoE	無通信時間監視	10 分
			MTU 値	自動調整
			PPPoE サービス・タイプ	PPPoE
			DNS サーバー	自動設定
	セキュリティ設定		ステートフルインスペクション	無効
			VPN　パススルー	無効
			パケット・フィルタリング	無効
	DHCP 設定		DHCP	有効
			DHCP 開始アドレス	192.168.1.11
			DHCP 終了アドレス	192.168.1.254
	ルーティング設定・RIP 設定		RIP バージョン	RIPV1
			RIP 送信	無効
			RIP 受信	無効
	ダイナミック DNS		ダイナミック DNS	無効
	UPnP 設定		UPnP	有効 *

*Windows Messengerの「電話をかける」機能は未対応

D　保証と修理について

□保証について

本書に記載されて いる「製品保証規定」を必ずお読みにな り、本製品を正しくご使 用ください。無条件 で本製品を保証す るということではありません。正しい使用方法で使用した場合のみ、保証の対象と なります。また、物理的な破損等 が見受けられる 場合は、保証 の対象外となりますので予めご了承く ださい。本製品の保証期間について は、保証書に記載さ れている保証期間 をご覧ください。

□修理について

故障と思われる現 象が生じた場合は、ま ず取扱説 明書を参 照して、設定 や接続が正しく行われているかを確認 してください。現象が改善されない 場合は、巻末の「お 問い合わせ用紙」を コピーしたものに必要事項 をご記入の上、保証 書および購入日の 証明できるコピー（レシート等可）を添付し、購入店または弊社 サポートセンター宛てに製 品（ 付属品一式を含む ）を送付ください。製品を送付する際は、以下 の点にご注意くだ さい。

修理期間中の代替 機等は弊社では用 意しておりませんので、予めご了承ください。

- 保証書に販売店の押印がない場合は、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。
- 製品購入日の証明ができない場合、無償修理の対象とはなりませんのでご注意ください。
- 弊社サポートセ ンターへ製品 を送付する際の 送付料金につきましては、お客様のご負担とさせていただきます。尚、運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- 宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付願います。
- 修理期間は、製品到着後、約 10 日程度（弊社営業日数）を予定しております。

□　**製品送付先**

〒 222-0033 横浜市港北区新横浜 1-19-20
（株）コレガ corega サポートセンター宛

E　ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、巻末の「お問い合わせ用紙」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記の番号までFAXしてください。できるだけ電話による直接の問い合わせは避けてください。FAXによって詳細な情報を送付していただくほうが、電話による問い合わせよりも遥かに早く問題を解決することができます。記入内容の詳細は、「お問い合わせ用紙の記入について」をご覧ください。

Tel:045-476-6268　10:00-12:00、13:00-18:00
月～金（祝・祭日を除く）

Fax:045-476-6294
※番号はお間違いのないよう、よくお確かめの上ダイヤルしてください。

お問い合わせ用紙の記入について

お問い合わせ用紙は、お客様のご使用環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。障害を解決するためには以下の点にそって、十分な情報をお知らせください。記入用紙で書き切れない場合には、別途プリントアウトなどを添付してください。

□ハードウエアとソフトウエア

本製品上に貼られたラベルに記入されているシリアル番号（S/N）、製品リビジョンコード（Rev）をお問い合わせ用紙に記入してください。

（例）

ご使用になっているソフトウエアの種類／バージョン（Ver.）を記入してください。これらは、ドライバーディスクのラベル上に記入されています。

他社のインターフェースボードやユーティリティーをご使用の場合は全てご記入ください。

接続しているサーバーの機種とその環境も可能な限りご記入ください。

□お問い合わせ内容について

どのような症状が発生するのか、それはどのような状況で発生するのかを出来る限り具体的に（再現できるように）記入してください。

エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージの内容をプリントアウトしたものなどを添付してください。

障害などが発生する場合には、本製品と併用されているユーティリティーや、アプリケーションの処理内容もご記入ください。

□ネットワーク構成について

ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。

他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

最新ファームウェアの入手方法

弊社は、改良のために予告なく、本製品のファームウェアのバージョンアップやパッチレベルアップを行うことがあります。最新の情報は、弊社のホームページを参照してください。

http://www.corega.co.jp/

corega Net-News のご案内

「corega Net-News」は、株式会社コレガがお届けするメール配信サービスです。新製品情報やキャンペーン、プレゼント情報など耳よりな情報をお届けいたします。メール配信サービスをご希望のお客様は、corega ホームページでご登録ください。なお、メール配信サービスはどなたでもご登録いただけます。

おことわり

- 本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
- 本製品の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

© 2003 株式会社コレガ

corega は、株式会社コレガの登録商標です。
Windows、WindowsNT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

2003 年 2 月　Rev.A　初版

お問い合わせ用紙（corega BAR Pro2）

年　月　日

一般事項

1. 会社名（個人名）：

部署名：　　ご担当者：（フリガナ：）

ご連絡先住所：〒

TEL：(　　)　　FAX：(　　)

2. 購入先：　　購入年月日：

購入先担当者：　　購入先 TEL：(　　)

ハードウェアとネットワーク構成

1. ご使用のハードウェア機種（製品名）、シリアル番号、リビジョン、ファームウェアバージョン

製品名：**corega BAR Pro2**

ファームウェアバージョン

Ver._____

2. 接続形態とご契約のインターネットサービスプロバイダー（ISP）名またはケーブルテレビ（CATV）名

□ CATV　　□社内 LAN

□フレッツ・ADSL　　□その他 (　　)

□ ADSL 事業社　　ご契約の ISP/CATV 名 (　　)

3. お問い合わせ内容　　□別紙あり　　□別紙なし

□設置中に起こっている障害　　□設置後運用中に起こっている障害

4. ネットワーク構成図　　□別紙あり　　□別紙なし

簡単なもので結構ですからご記入をお願いします。